

福島県三島町
広報

平成 28 年 6 月 3 日発行
(毎月第 1 金曜日発行)

Public relations
of Mishima-town,
Fukushima in Japan

みしま

2016

June

6

No.279

みんなと楽しく

跳んで、走って、踊って、笑って

よーい、どんっ!



the most beautiful
villages
in japan

福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

6月 目次

- 2 三島小学校・三島保育所合同大運動会
- 3 桐の里ウォークブレ大会
- 5 三島町保健推進委員会 総会
三島保育所幼年消防クラブ結団式
春の空き瓶・空き缶回収
三島町消防団 春季検閲式
第46回交通安全母の会 総会
- 6 町民記者通信
- 7 春の人足作業（桧原地区）／西方地区内の農道や水路がスッキリ（西方地区）／「子どもの成長願い」多数参拝する（西方地区）／道路周辺きれいに「ボランティア桧原」（桧原地区）／地区委員会に地域おこし協力隊も参加（西方地区）／国道400号線沿い桜並木保全作業（名入地区）／棚田お田助オーナー」田植え行われる（間方地区）／異常現象今年は藤花が全滅（川井地区）／花植えのボランティア活動（川井地区）／三島町商工会「第55回通常総会」（宮下地区）／古峯講とボランティアこぶしの会「国道沿いゴミ収集」（滝原地区）／**新町民記者紹介**
- 8 三島町役場**新**採用職員紹介
三島町**地域おこし協力隊**特集
- 9 町史編さん室だより
- 10 県立宮下病院より
- 11 民話【第62回 番者坂の名判官】
- 12 各種お知らせ
- 13 各種お知らせ
- 14 フォトコンテスト／町長日記

平成二十八年度

三島小学校・三島保育所合同大運動会

スローガン「走りぬけ力をあわせて最後まで」



①



②



③



④



⑤



⑥



⑦

⑧

三島小学校・三島保育所合同大運動会は五月二十一日に青空のもと行われ、児童・乳幼児たちの元気な声が校庭に響き渡る中、今年のスローガンである「走りぬけ力をあわせて最後まで」をもとに、さまざまな種目が行われました。プログラムの中には、保護者の皆さんをはじめ、来賓の皆さんや見学にいらした方々など児童・乳幼児たちが力をあわせて行う競技もあり、大いに盛り上がりました。

- ①かけっこ（年長・保育所入所予定児童）
- ②おいては子に従え（5・6年）
- ③三島「4WD」に出場する小6保護者の皆さん
- ④応援合戦（白組）
- ⑤綱引き
- ⑥ヘビー組体操ローテーション（4～6年）
- ⑦ドンスカ・ぼよん（保育所児）
- ⑧応援合戦（赤組）



皆さんの健康のために 三島町保健推進委員会総会

三島町保健推進委員会総会が4月21日に町民センターで開かれました。町が実施する保健事業に、積極的に参加、協力をいただき、保健事業の円滑な推進を図る活動をしていきます。



▲保健推進委員会総会の様子

町内各地区の空き瓶・空き缶を回収 三島中学校 春の空き瓶・空き缶回収

三島中学校による「春の空き瓶・空き缶回収」が4月23日に行われました。生徒の皆さんは、サポート会の皆さんの協力を得ながら各地区の空き瓶・空き缶を回収し、分別する作業に熱心に取り組んでいました。



▲大量に集まった空き缶の分別をする生徒と保護者

三島町の安全・安心のために 三島町消防団 春季検閲式

三島町消防団春季検閲式が4月27日に町民運動場で行われました。閲団、点検、訓練を受けた各団員はきびきびとした動きをみせ、三島町の安全・安心を守るために、防火・防災に向け気持ちを締めくめる一日となりました。



▲春季検閲式の様子

!!火の用心!! 三島保育所幼年消防クラブ結団式

三島保育所幼年消防クラブ結団式が4月22日に行われ、幼年消防クラブの皆さんは「私たちは三島保育所幼年消防クラブ員としてお家の人と協力しながら火事を出さないように気を付けます!」と誓いの言葉をのべました。



▲火災予防を呼びかける三島保育所幼年消防クラブの皆さん

平成28年度 第1回空き瓶・空き缶回収の御礼

初夏の候、町民の皆様におかれましては益々で健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より三島中学校の教育活動やPTA活動に対し、多大なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、春の空き瓶・空き缶回収におきましては、たくさんの空き瓶や空き缶をご提供いただき誠にありがとうございました。

お陰様でリサイクル料も74,863円(空瓶50,500円、空缶24,363円)となりました。

このリサイクル料は、三島中学校の教育活動や生徒会活動の充実のために有効に活用してまいります。

結びに、今後とも本校教育活動へのご理解・ご協力をお願いし、御礼の言葉とさせていただきます。

三島町立三島中学校長 佐藤 昭
三島町立三島中学校PTA会長 小平 誠
同 生徒会長 坂内 通人

交通安全は家庭から 第46回交通安全母の会総会

第46回三島町交通安全母の会総会は5月20日に行われました。母の会では、今年度も交通事故防止県民総ぐるみ運動での街頭指導や飲酒運転撲滅のための啓発活動などを行います。



▲第46回交通安全母の会総会の様子



緑深まりつつある景色、参加者との『交流』を楽しみながら歩く

公民館主催の2016 桐の里ウォークプレ大会(町民対象)が5月14日に開催されました。参加者は、総勢44名で、老若男女問わず、中には乳母車を押しながら参加された方もいました。役場からスタートし、只見川を中心に一周する約8kmのコースで、ウォーキングをしながら三島町の絶景を堪能しました。ゴールした後は、美味しい豚汁が振る舞われました。

次回は、10月ごろに開催を予定しています。町内外の方を対象とし、健康・体力づくりとともに三島町の大自然に癒されてみませんか?たくさんのご参加をお待ちしております。

2016 桐の里ウォーク プレ大会



「春の人足作業」
文・写真 佐々木邦雄さん（松原）

四月二十九日、午前六時より恒例の春の人足が多くの出席で地区内町道の側溝清掃作業を実施しました。芽吹き始めた木々や草花を見ながら賑やかに作業が進められ地区の皆さまの共同作業で汗を流しました。毎年人足の途中より地区消防班の協力により側溝と路面の汚れを洗い流す放水作業が行われ、大変きれいになりました。約二時間の作業で終了し、皆さん快く解散されました。



▲側溝清掃作業の様子（松原）

西方地区内の農道や水路がスッキリ
文・写真 本名与四郎さん（西方）

五月一日（日）の午前八時より正午近くまで、西方地区内において「春の人足」が行われました。西方地区は、隣組が十四組に分かれており、各担当場所の水路、農道、林道の落ち葉や枯れ枝、倒木などの撤去、清掃作業を中心に行いました。隣組によっては、人数が少な



▲桜並木の保全作業の様子（名入）

「棚田お田助オーナー」田植え行われる
文・写真 菅家壽一さん（間方）

五月二十二日（日）宮ノ前地区において、オーナーとご家族やお友達等が駆け付けてくださり、田植えが行われました。近年、高齢化や採算が合わない等により、耕作されない田んぼが増え、美しかった里山の景観も損なわれてきました。

このため、地区外の方々の力をお借りして、楽しみながら美しい景観を守っていただくとともに、自分でつくった美味しいご飯を食べていただくことが始まったのです。

この日は、遠くは東京都、埼玉県、仙台市、郡山市、会津若松市、会津坂下町、会津美里町から二十一名が駆け付けてくださり、六枚の田んぼ約四反にひとめぼれ・こがねもち、マコモダケを植え、とても賑やかな田植えになるとともに、美しい景観を維持することができました。また、埼玉から来て下さった

く合同で行う組もありました。作業の途中、春雷が鳴り響いたり、雨が降ったりの悪天候の時もありましたが、時間が経つにつれて陽も差し、けがや事故なく無事終了することができました。



▲普段通行しない林道の整備（西方）

「子どもの成長願い」多数参拝する
文・写真 本名与四郎さん（西方）

鬼子母神例大祭は昨年まで三日間行われていましたが、今年より五月五日の一日のみ西方地区の鬼子母神と西隆寺で行われました。

鬼子母神堂は標高五百メートルの岩倉山頂上にあり、明治初めに地元の庄屋が建立したものとされています。

今年も安産や子どもの健やかな成長を願い、町内外から多数参拝客が訪れました。小さい子は親に手を引かれ、まだ歩けない幼い子は親に背負われて、険しい山道を登り参拝する習慣が受け継がれています。

鬼子母神堂付近からは、奥会津の山々や只見川の雄大な風景

方は、稲の健やかな成長と美味しい米の収穫を祈って、琴の演奏をしてくださるとともに野点もしてくださいました。

間方地区では、ここでのホタルの増殖に取り組んでおり、ホタルが乱舞するのも楽しみです。



▲田植え作業の様子（間方）

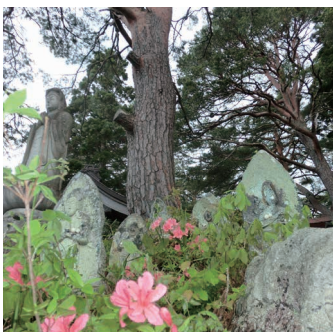
異常現象今年は藤花が全滅
文・写真 角田伊一さん（川井）

六月の三島町は桐の花と藤の花の競演する、文字通りパープルタウン（紫に染まる町）の佳き季節のはずですが、既にお気づきの通り、今年は藤の花を見ることが出来ません。近年種々異常気象とか超常現象とかがうわさされますが、今年の藤の花の咲かない理由は、私見ですがこれとは無関係で、多分虫害によるものと思われます。

一昨年の夏に大発生したマイマイガは、あらゆる場所に膨大な越冬卵を産み付けました。それは昨春に孵化し、樹木の新芽を食害し成長しました。幼虫は特に藤の葉を好み、只見川水系のほとんどの藤は五月初旬には

を望むことができ、家族や友人同士で記念写真を撮る姿も見られました。

また、大神楽の団が鬼子母神例大祭にあわせて西方地区内を回りました。恒例の場所となっている西隆寺境内とふるさとセンター内で太鼓や笛の音に合わせた神楽を披露し、大勢の観客を魅了しました。



▲岩倉山頂上から見守る石仏群（西方）

道路周辺きれいに「ボランティア松原」
文・写真 佐々木邦雄さん（松原）

五月五日、午前八時よりボランティア松原（代表海老名一子氏）が地区周辺の町道・県道・国道の約四キロメートルを会員二十二名の参加により、道路沿いに投げ捨てられた空き缶、ペットボトル、燃えるゴミ等のゴミ拾い作業を実施しました。今年度は、例年よりゴミが少なく皆さん安心されました。夜六時から総会を開催し、今後の事業計画として桐寿苑の夏まつり協力や、地区のそば会の協力が予定されました。

総会終了後、懇親会が行われ

会員の親睦を深め楽しいひと時を過ごしました。



▲ボランティア松原の皆さん（松原）

地区委員会に地域おこし協力隊も参加
文・写真 本名与四郎さん（西方）

五月十二日（木）の午後七時三十分より西方ふるさとセンターにおいて「第二回地区委員会」が行われました。はじめに二瓶辰雄区長による西方地区における行事や調査、下見などの実施したことについての「区長日報」の報告がありました。

また、今年度より西方地区担当となった三島町役場の舟木孝治さんと地域おこし協力隊の岩本大輔さんも委員会に参加しました。岩本さんは埼玉県出身で宮下地区の教員宿舎に居住しながら、集落における各種支援活動や地域住民関係機関等の「つながり役」となって地域活性化を図っていきたくと抱負を述べました。

その後、協議事項に入り、各部より「春の人足」「春の大神楽」「虫送り行事」「健康を守る会運動会」などの反省や計画につい

芝桜、アジサイ栽培に触発されたと云われております。花の盛りに寺を訪れば、心の安らぎを得ることが出来ると云われています。



▲花苗の移植ボランティア作業（川井）

三島町商工会「第五十五回通常総会」
文・写真 小島純さん（宮下）

五月二十三日（月）午前十時より三島町商工会館において「第五十五回通常総会」が開催され、約四十名が出席しました。佐久間源一郎商工会長のあいさつの後、永年勤続優良従業員四名に表彰状が授与され、来賓祝辞・紹介の後、議事に入り、平成二十七年の事業報告及び収支決算、平成二十八年の事業計画及び収支予算、その他の議事が承認・決定されました。



▲総会の様子（宮下）

て話し合いました。



▲夜遅くまで続いた委員会（西方）

国道四百号線沿い桜並木保全作業
文・写真 五十嵐公男さん（名入）

名入地区から西方地区に至る、国道四百号線沿いにある桜並木の保全作業が、五月十五日（日）、地区住民有志十一名、地区外一名の計十二名で行われました。今年は例年になく見事な花を咲かせてくれた桜の木も、最近手入れが行き届かず、直径数センチにもなる藤蔓やクルミ・桑の木等の雑木により痛みが激しく、枯れる寸前の桜木も見受けられました。足元の悪い箇所での作業の為、当初桜の幹回りと身長程の高さまでの作業を予定しておりましたが、先人が植栽し残してくれた桜を、何とかして守ろうと一丸となって作業をした結果、予定になかった国道の草刈りまで進む事が出来ました。やり遂げて疲れ切った参加者の顔の中には、この先を見つめる「優しい眼差し」がありました。

古峯講とボランティアごぶしの会「国道沿いゴミ収集」
文・写真 佐久間絹江さん（滝原）

五月一日、ボランティアごぶしの会による総会及び、国道沿いゴミ収集、昼食会を行いました。

総会終了後、時折強く降る雨の中、ゴミ袋を手には滝原スノーシエッドから早戸スノーシエッドまで空き缶等のゴミを拾い集めました。作業後は、親睦を深めながら昼食を頂きました。

五月四日、古峯講を行いました。美坂山の中腹に祀つてある祠にお詣りしてから滝原林業集会センターで会食をしました。



▲選別作業の様子

滝原地区の「新町民記者」

四月一日付けで、滝原地区の町民記者として新たに佐久間絹江さん（滝原）が委嘱されました。



町を支えるあたらしい力。②



町民課 町民係 主事

歌川 幸次

六月から町民課町民係で働くことになりました、歌川幸次と申します。私は会津若松市の出身で、今までは地元の会津若松市で働いていました。

三島町の職員として働いていく上でまだ知らないこともたくさんあると思いますが、少しずつ町のことを知り、三島での生活を楽しんでいければと思います。よろしくお願いします。

歌川さんって どんな人？

◎マイブーム
観葉植物を育てる

◎好きな言葉
雲外蒼天

◎今年の目標
なじむ



地域おこし協力隊（地域政策課）

岩本 大輔

いわもと だいすけ
36歳 埼玉県

2016 年

地域おこし協力隊メンバー勢ぞろい！！



いわもと だいすけ
岩本 大輔
あだな：だいちゃん
地域政策課
担当：集落支援

ときわ たつひこ
常盤 達彦
あだな：とっきー
総務課
担当：情報発信

たて みさと
館 美里
あだな：みさっちゃん
地域政策課
担当：観光振興

しみず なつほ
清水 夏穂
あだな：なっちゃん
生活工芸館
担当：編み組細工

さとう あやの
佐藤 彩乃
あだな：あやのちゃん
地域政策課
担当：商工振興

おやまだ むつみ
小山田睦美
あだな：むっちゃん
産業建設課
担当：農業支援

これが本年度の三島町地域おこし協力隊のメンバーたちです。

すでに、それぞれの分野で活動中ですので、町で隊員を見かけましたら、ぜひニックネームで呼んであげてください。みんな喜びます。

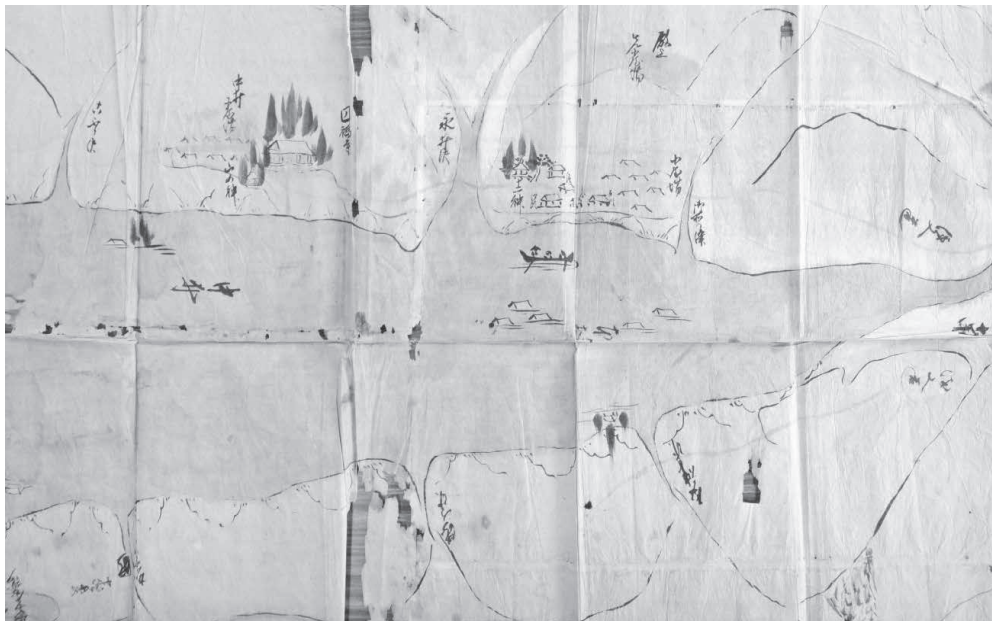
さて、広報みしまでは来月号から協力隊の特集をしていきます。協力隊たちがどんな場所で、どんな活動をしているのかなどを、わかりやすく伝えていきたいと思しますので、よろしく願います！

地域おこし
協力**隊**

町史編さん室だより

第5回

二百年前、大谷村が塞き止め湖に沈んだ災害の記録
二瓶治右衛門『御用勤覚書』



二瓶八郎家文書「大谷村洪水絵図」の一部（福島県歴史資料館収蔵）

今からおよそ二百年前の文政三
(一八二〇)年六月五日、前代未聞の集中
豪雨に見舞われた大谷村では、鳥海の長久
保山が大きな地滑りをおこし、大谷川が完
全に塞ぎ止められました。結果、長さ十二
町(約一三〇〇メートル)に及ぶ巨大な塞
ぎ止め湖が出現、高台にあった円福寺、郷
頭、名主の屋敷外数軒を残し、全村が湖底
に沈む大惨事となりました。

増水が緩やかだったこともあり、幸いに
も人馬の被害はありませんでした。村人は
高台にある堂平、檀の平、夜鷹平、殿の上
平などに家財を運び、仮小屋を建て、約三カ
月間の避難生活を送りました。その詳細な
記録を、当時の村名主二瓶治右衛門が書き
残しています。また湖上を舟で往来する様
子まで描いた洪水絵図などもあり、いづれ
も貴重な災害記録です。

(文政三辰年)六月五日四ツ時(午前十時)
大洪水、前代未聞本村残らず川になる。十
左衛門(外十二軒)家に太川の如く石砂押
し入り、水三、四尺上がる。田地残らず押
し流す。同日八つ時(午後二時)頃より永
井沢出水。彦八家突きつづす。与左衛門(外
四軒)家石砂押し込み川に成る。家財残ら
ず上村万右衛門(外三軒)家へ送る。大雷
雨、昼夜を限らずまことに夥しく成る。(略)

もし、ご家庭に古い文書などがございましたら、交流センター山びこまでご一報ください。

☎ (52) 2165

同日昼九ツ時（午後十二時）、鳥海長久保山崩れ、川を突き留め水を湛え鳥海残らず堂平に上がる。（略）八ツ時頃までに鳥海都合十八軒流失す。七ツ時（午後四時）頃より中井へ水上がり、老幼人馬円福寺へ駆け入り、家財残らず夜鷹平へ、円福寺へかたす。隣村へ知らせ、六日夜より大登川井宮下桑原より飯米炊き送る。翌七日近村残らず駆けつける。本村へ湛え上り、中井残らず流失す。（略）七日近村人足にて本村中井鳥海小屋掛け、本村は殿の upper に老幼人馬上の家財残らず運ぶ。八ツ時までに初太郎（外二十二軒）家残らず浮く。（略）七日夜暮れ方より親方、拙宅、孝次郎屋敷に上がり、四ツ時（午後十時）までに六尺余家の水増し、亀吉家に一尺ほど上がり誠に大雨なり。

（以降会津藩役人検分、被災手当支給、排水工事関連の記述あり）

（同九月二十四日）御普請、成就に相成り、八ツより夜四ツ時まで残らず水押排し、只見川突留まり、川上一里ほど湛え候由。（略）近村へ水抜ける音響き宮下辺りは地震の如くに御座候由（以下略）

※原文には句読点も送り仮名もなく、これは読み下したものです。今回紹介する古文書は長文であり、一部を省略しています。

日頃より当院の病院事業に對して多くのご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
平成二十八年四月の人事異動により愛澤正人、佐藤悠兩医師が離任し、新たに二名の医師が着任しましたのでご紹介申し上げます。
【新任医師のごあいさつ】



医 長
五十嵐 亮

前任地は福島県立医科大学附属会津医療センター消化器内科で勤務しておりました。胃カメラ等での経験を活かしながら、宮下病院では内科一般の診療を行います。

地域の力となるよう尽力したいと思しますので、よろしく願いたします。



医 員
山元 勝 悟

平成二十八年四月に赴任しました。宮下病院では内科一般の診療を行います。地域の健康に少しでも役立てばと思います。

よろしく願いたします。

【皮膚科の診察日の変更について】

皮膚科の診察日が、六月から左記のとおり変更となりますのでお知らせいたします。

○皮膚科の診察日

四月～五月 第二・四金曜日の午後

六月～ 第一・三木曜日の午前

【平成 28 年度 宮下病院「心ある医療」出前講座のご案内】

県立宮下病院では、地域の方々との交流を深め、皆さまに信頼される病院運営に向けた取り組みの一つとして、平成 20 年より「心ある医療出前講座」を開催しております。
この「出前講座」は宮下病院の医療スタッフが直接、皆さまの元へお伺いして、病気の予防や健康増進などをわかりやすくお話しするものです。
皆さまの日ごろの疑問解消や興味のある分野でお役に立てれば幸いです。

○出前講座メニュー 一覧

No.	講座名	内容説明	所要時間	対象者	担当
1	脳卒中を知ろう、防ごう！ ～予防法から最新の治療まで～ ※開催日：㊸の午後（応相談）	①脳卒中の基礎知識 ②脳卒中になりやすい人とは？～こんな人は要注意 ③脳卒中の症状～こんな症状が出たらすぐ治療へ ④脳卒中の治療～最新の治療を交えて ⑤脳卒中の予防	40 分	地域住民 （※会場は、宮下病院会議室になります。）	医師
2	高齢者の転倒予防・寝たきり予防 ～いつまでも、足・腰元気！！～	①なぜ転倒が寝たきりの原因になるのか ②骨粗しょう症とは？また、ならないために ③転ばないようにするにはどうしたらよいか ④転ばない足・腰をつくるための体操	40 分	高齢者	看護師
3	腰痛、膝痛の原因 ～若がえりのための体操～	①腰痛、膝痛はなぜ起こるのか ②腰痛、膝痛予防のための体操	30 分	腰・膝の痛い方 腰痛、膝痛を予防したい方	看護師
4	高血圧予防教室 ～簡単な血圧予防のお話です～	①高血圧の基礎知識 ②生活のポイント ③家庭での血圧測定のポイント	30 分	成人	看護師
5	いつまでも元気に ～「新老人の会」3つのスローガン～	①いつまでも元気に生活する心の持ちようについて ②気軽にできる体操 ③脳の活性化と転倒しないための運動	40 分	地域住民	看護師
6	いつまでも元気に ～健康は食べることから～	①何から食べると良いか ②どんなものを食べると良いか	40 分	地域住民	看護師
7	生活習慣病ってどういうこと？ ～ちょっぴり運動を続けよう～	①日常生活における食事と運動 ②脂肪を減らして心臓病予防 ③減塩で高血圧予防 ④あなたの血管年齢を測定します 等	40 分	地域住民	看護師
8	生活習慣病 ～肥満について～	①肥満とは ②肥満は何が恐いか ③肥満を防ぐ日常生活とは	40 分	地域住民	看護師
9	生活習慣病 ～糖尿病を知ろう！防ごう！～	①糖尿病ってどんな病気 ②予防について ③糖尿病の恐いところと恐くないところ	40 分	地域住民	看護師
10	生活習慣病 ～脂質異常症ってなあに～	①脂質異常症の診断基準 ②原因・治療・注意事項	40 分	地域住民	看護師
11	感染予防のための正しい手洗い・うがい	①秋から冬にかけて流行する感染症とその予防方法について ②インフルエンザなど ③正しい手洗いうがいについて説明、実際に行う	40 分	地域住民	看護師
12	笑い与健康 ～笑って健康になろう～	①なぜ笑うと良いか ②実際に笑ってみよう	40 分	地域住民	看護師
13	認知症 ～不安を安心に変えるために～	①認知症とは ②物忘れと認知症の違い ③認知症への対処方法	40 分	地域住民	看護師
14	お薬の正しい知識 ～お薬との上手なつきあい方・使い方～	①薬の正しい飲み方（服用方法・服用時間） ②薬の剤形ごとの特徴とその使い方 ③薬の正しい保管の方法 ④薬を安全に使用するために	40 分	地域住民	薬剤師
15	お薬の正しい知識 ～お薬に関するQ & A～	薬に関するQ & Aをご紹介します。	30 分	地域住民	薬剤師
16	元気を作る食習慣 ～バテない食事とは？～	①元気に活動するための食事 ②効果的な水分補給 ③疲労回復の食事	40 分	地域住民	栄養士
17	低栄養を防ぐ ～美味しく、楽しく食べる習慣を～	①低栄養状態のセルフチェック ②食生活のポイント ③噛む力や飲み込みの機能が低下している場合の調理の工夫	40 分	地域住民	栄養士
18	便秘予防と食事 ～おいしく食べてスッキリ快便～	①便秘の原因について ②朝、昼、夕3食食べましょう ③食物繊維をバランスよく食べましょう ④乳酸菌とビフィズス菌	30 分	地域住民	栄養士
19	減塩食にトライ ～あなたが普段どのくらい塩分を摂っているかご存知ですか？～	①簡単な塩分チェック方法 ②食塩量ランキングクイズ ③塩分を減らすための方法 ④おいしい減塩レシピ（乳和食）	40 分	地域住民	栄養士
20	上記講座以外でのご希望があればご相談ください。				

○「出前講座」の開催時間：原則として、平日の 9:00～16:00(各職員の勤務日等の関係により、日程等を個別に調整させていただきます)

○ご利用方法：「出前講座メニュー 一覧」の中からご希望のテーマを選び、宮下病院事務部出前講座担当までお申し込みください。

※日程調整に時間がかかる場合もありますので、お申し込みはなるべくお早めをお願いします。
お申し込みの際は、1 希望講座名、2 希望日時（時間帯）、3 講演場所、4 聴講対象者、及びその人数、5 お申し込み者（代表者の氏名、住所、電話番号など）をお知らせください。

○申込み及び問い合わせ先：県立宮下病院 事務部「出前講座担当」 ☎ 0241-52-2321 ／ fax0241-52-3133

民話



第62話 番者坂の名判官

この話は、故 山内為之輔氏の記述書によるものです。

西方部落の北端、柿平の先に狭い谷にかけられた橋がある。谷の小川は、麻生開田の際、田に水を引いた。

その橋を渡ると上がりのだらだら坂になる。坂の上で道はふたつに分かれ右は柳津道で、麻生部落を通って行く。左は黒沢峠を越えて西会津坂になる。

この道路は野沢、早戸間が県道になった時、現在のようにな立派なものになった。それ以前は、まったくの山道であった。

ゆうれい清水のところから、こどもがようよう登れる険しい近道があった。ここから柏木山西の斜面の曾根にそって畑を通り、黒沢部落外れの鎮守森の前に下りた。きれいな冷たい清水がわすれられない。

大沼、河沼の群境は西方部落外れの「山刀が沢」であるが、こくどめの時は無論のこと、平時でも会津藩とお蔵入りの境に番所を設け役人が監視していた。

この番所は橋のたもとにあつたらしい。それでこの辺りは「番者坂」とよばれた。又参宮坂とか参宮峠ともよばれた。それは西方奥地の人々が伊勢参宮に行くとき、この坂を越えて野沢から越後を通り、伊勢参宮をしたからである。

さて、番者坂の番所でのおもしろい話が伝えられている。

むかしむかしある時な、ふろしき包み背負った百姓風の男が通つたど。

「これこれ包みの中をみせよ」役人の声にオロオロして包み

をひろげただど。なんとふろしきん中は全部ロウソクだつたど。

「こりゃロウソクじゃないか。こりゃ〜こまつた。おまえも知つておろうが。今の世はロウソクと漆は越境禁止品であるぞ」

「はいはい承知しますが・・・お伊勢参りさ行くだが、なんとも銭が無えがら・・・」おごらつちや男は頭さげさげ

「国家安全、五穀豊饒祈願に行くだつし・・・このロウソク売りながらお金にかえるので・・・許してくんつえ」つただど。

役人は、しばらくその男んどご見たつたつけが、ウソではないな、真面目なやつだな・・・そう判じらつただべえ。「これ志しはよくわかつたぞ。したがあ、掟はおきてじやよ。奇特なことだが通すわけに参らぬ」つうだど。

「はい〜はい〜んじゃも、なんとか・・・」
「掟をやぶるわけにはまいらん。すぐ元の道をもどれ」つただど。

男は力無く立つちやがつて、引き返すべえどした、その時だど

「これこれおまえが来たのはそつちではない、向こうへ行け」つて指さしたのは、男が行ぐべどしてた番者坂を越す峠道だつけど、越後坂を指さしただど。

「えっ？」百姓はキョロキョロして、ハツとしてなあゝ有り難くて有り難くて感謝の涙で役人にあづーぐお辞儀をしてなあ、参宮峠を越えていったそうだ。

こんな話は、明治時代に古老が聞かつたそうだ。そんなじゃな「番者坂」の名半官ちゆう事が伝わつて居んだよ。

元話 故 山内 為之輔さん（西方）
再話 五十嵐 七 重さん（西方）

ご寄附
ありがとうございました

ふるさと納税（町へのご寄附）

河野 廣 様（神奈川県川崎市）
相羽 史朗 様（東京都江東区）

※平成 28 年 4 月より、特別町民の皆様からの年会費につきましても、ふるさと納税として取り扱わせていただいております。多数の会員の皆様からの納入に対し、厚く御礼申し上げます。

社会福祉協議会より

ご寄附
ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附 （ご遺志によるもの）

五十嵐 健 行 様（大石田）
五十嵐 紳 行 様（大 谷）
舟 木 義 徳 様（間 方）
秦 和 幸 様（大石田）

お詫びと訂正について

「広報みしま 5 月号」P11 の社会福祉協議会へのご寄附の内容に誤りがありました。正しくは以下の内容です。お詫び申し上げますとともに、訂正いたします。

正	ご寄附	角田英哉様（浅岐）
誤		角田英哉様（間方）

地域ふれあいサロン

サロンないり
6 月 8 日㊥ 10:00～ 名入公民館
宮下・荒屋敷・桑原・中平サロン
6 月 16 日㊥ 10:00～ 宮下活性化センター

社会福祉協議会 ☎（52）3344

6 月の納税

納期限 6 月 30 日

▶町県民税（普通徴収税）（1 期）

忘れずに納付ください。
役場 町民課

町の人口と世帯

5 月 1 日現在

人口	1,749	5	出生	0
男	845	3	死亡	5
女	904	2	転入	17
世帯	788	2	転出	7

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月 1 カ月間に届出のあった人数です。

「労使困りごと相談窓口」のお知らせ

職場の中で起きている、賃金や退職、人間関係などに関する困りごとや疑問についての相談をお受けします。相談は無料で秘密は厳守します。相談は、平日の面談や電話での相談のほか、ファックスや電子メールで随時受け付けています。お気軽にご相談してください。

福島県労働委員会事務局 ☎ 024(521)7594 / fax 024(521)7596
mail roudousoudan@pref.fukushima.lg.jp

登山家田部井淳子さん講演会～参加者募集～

講演会「山登りと健康」が開催されます。この会は第 2 8 回日本運動器科学会関連事業で、広く一般の皆様へご参加のお誘いです。今、社会問題となっているロコモとは何か「運動・健康・そして長生き」の秘訣を登山家、行政、医師等、様々な視点から話し合うシンポジウムも同時開催いたします。参加料は無料ですので、お気軽にお越しください。

○日 時：7 月 10 日㊥
午後 2 時から
○場 所：会津若松ワシントンホテル
福島県立医科大学会津医療センター ☎ 024(534)2574

視覚障がい者の教育相談

疾病などによる視機能低下（著しい視力低下や視野狭窄、視野欠損等）で、進学や就労でお困りの方の教育相談を行っています。

○開催日：毎月第 2 ・ 4 週の月～金（9 時～ 16 時）
○対 象：原則 18 歳以上の方（高校生可）
お気軽にお問い合わせください。

県立盲学校（福島市）☎ 024(534)2574

「不動産取得税の軽減制度」

不動産取得税は、土地や家屋を取得したときに一度だけ納めていただく県の税金です。住宅用の土地を取得してから 3 年以内に住宅を新築（中古住宅の場合は、1 年以内に取得）した場合や、住宅を取得してから 1 年以内にその住宅用の土地を取得した場合で一定の要件を満たすときは、これらの土地にかかる不動産取得税を減額する制度があります。

また、災害や公共収用時などにも減免制度があります。これらの制度は、ご本人の申請により減額・減免となりますので、該当すると思われる方は、詳しい要件及び必要書類についてお問い合わせください。

福島県会津地方振興局県税部 不動産取得チーム ☎ 0242（29）5254

— 白色申告書の記帳説明会について —

個人の住民税申告の方で事業所得等を有する全ての方は、帳簿の記帳及び保存が義務付けられています。（所得税の白色申告者も同様）町では、税務署と共同で、記帳の仕方がわからない方や新たに事業を行う方のために、記帳・帳簿保存制度の概要や記帳の仕方等を説明する「記帳説明会」を実施します。

※対象となる方
事業所得（農業所得を含む）、不動産所得又は山林所得を生ずべき業務を行う全ての方です。

●日時・場所
6 月 7 日（火） 10 時～ 11 時 30 分、14 時～ 15 時 30 分
会津若松市文化センター「展示室兼会議室」
6 月 8 日（水） 10 時～ 11 時 30 分
会津若松市河東支所 2 階「大会議室」
6 月 9 日（木） 10 時～ 11 時 30 分
会津坂下町中央公民館 2 階「大研修室」

会津若松税務署 個人課税部門 ☎ 0242（27）4311(代表)

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯
（5 月 1 日現在）

1 件

なりすまし詐欺にご注意！

○各地で詐欺被害○

▼還付金詐欺が急増中

●6 5 万円被害
市役所保険課職員を名のる者から「高額医療費の還付金があります。」などと言われ、ＡＴＭで 6 5 万円を振り込んだもの。

●不審電話
市役所保険課職員を名のる男から連絡が来た後、とある銀行職員から「振込みの手続きをするので近くのＡＴＭに行ってほしい。」という不審電話があったもの。

▼熊本地震に便乗した『なりすまし詐欺』にご注意

全国で、熊本地震に便乗した不審電話が発生しています。

●高齢者宅への女性からの不審電話
「熊本地震で困っている方のために募金を協力している。家に募金を取りに行く。」

●銀行員を名のる者から不審電話
「熊本の震災への募金を募っています。今から言う口座へお金を振り込んでください。」

これらの行為は詐欺です。警察や家族等に相談してください。

街頭犯罪発生件数（4 月中）

区 分	管 内	三島町
強 盗		
空 き 巣 ね ら い	2	
忍 び 込 み	1	
事 務 所 荒 ら し		
出 店 荒 ら し	1	
自 動 車 盗	1	
オ ー ト バ イ 盗		
自 転 車 盗	4	
自 販 機 ね ら い		
車 上 ね ら い	4	
ひ っ た く り		
部 品 ね ら い		
強 制 わ い せ つ		
街 頭 犯 罪 合 計	13	0
全 刑 法 犯	45	1

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

熊本地震で被害に遭われた方々のために！

三島小学校児童は、熊本地震義援金の募金活動を行い、4 月 28 日、集まった浄財 19,673 円の義援金を手に町長室を訪れ、児童代表の 6 年生の皆さんが「被害に遭われた熊本県の皆さんへ、私たちの思いとともに届けてください」と、赤十字社三島分区長でもある矢澤町長に手渡しました。

このほか、多くの町民の皆様方からも義援金が寄せられています。皆様方のあたたかい御支援に感謝申し上げます。



▲矢澤町長へ義援金を託す三島小 6 年生の皆さん

三島町 1 年間無火災を記録し表彰される



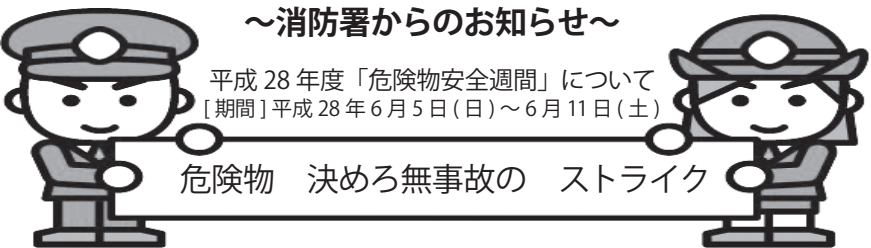
▲表彰状を手にする三島出張所署長宮田さんと会津坂下消防署長岩田さん

会津坂下消防署三島出張所は、平成 28 年 5 月 3 日をもって 1 年間の無火災記録を達成し、5 月 9 日、会津若松地方広域消防本部長より表彰を受けました。

同日、会津坂下消防署長と同・三島出張所長が町長を訪問され、受賞を報告されるとともに、さらなる無火災記録継続に向けて決意を新たにされていました。

～消防署からのお知らせ～

平成 28 年度「危険物安全週間」について
【期間】平成 28 年 6 月 5 日（日）～ 6 月 11 日（土）



危険物安全週間は、危険物の危険性を確認し、危険物による事故ゼロを目指す取り組みです。危険物とは、消防法で定められており、身近なものでは、ガソリン・灯油・油性塗料等の危険性をもった物品をいいます。

特にガソリンは揮発性が高く、静電気でも引火してしまいます。給油などでガソリンを取り扱う際は、静電気を除去し、タバコなどの火のついたものを近づけないように十分注意して取り扱いましょう。 また、各家庭に設置されている住宅用火災警報器のバッテリー交換期限は機種によって異なります。目安はおおむね 1 0 年ですので、いざという時に鳴動しないことのないように各自点検をお願い致します。

会津坂下消防署三島出張所 ☎ (52)3032

監査委員に 菅家政義さんが再任



5 月 13 日、菅家政義さん（荒屋敷）が監査委員として再任され、町長より委嘱状が交付されました。

第6回 『撮』っておきのみしま町 フォトコンテスト 2016 作品募集



テーマ
三島町に関することなら
なんでもOKです

お子様から
お年寄りまで
ご応募いただけます

三島町は
「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています

the most beautiful
villages
in japan

「日本で最も美しい村」連合

作品募集期間

H28年4月20日
～7月18日まで

作品展示期間

H28年8月2日
～9月4日まで

詳しい応募方法は
交流センター山びこまで
問い合わせ下さい



～たくさんのご応募をお待ちしています～

三島町交流センター山びこ

〒969-7402

福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上418

TEL 0241-52-2165

町長日記 ～ウォーキング～

No. 11

四月から朝のウォーキングを始めました。自分でコースを設定し、四キロ、五キロ、六キロとその日の自分の体調を考えて歩いていきます。

五キロコースを歩いているといつもすれ違う女性の方から、「町長さん、四つ葉のクローバーを見つけたので一つさし上げます」と声をかけられ、遠慮なく頂いたりと早朝から様々な人との出会い・会話ががあります。

健康は、我々にとって最も大切です。私は、生涯を通じて健康でいきいきと暮らせる事を望んでいます。

日本が世界一高い平均寿命を達成し、高齢者として生活する長い時間を与えられたことは、健康であることの意義が以前より増して大きくなりました。今後は、「健康寿命」を長く保つことが重要と考えています。町といたしましては、健康づくりは、一人ひとりが「自分の健康は自分で守る」という基本的な考え方にたちながら、健康づくりの正しい情報を提供し、町民の皆さんが自らの生活習慣や身体的状況に適した健康づくりを取り組むことができるような支援をしていきます。ウォーキングも最適なその手段の一つであると考えます。

四つ葉のクローバーは、後期基本計画の四十九ページに差し込んで大事に保管しています。一人の女性のクローバーに託した思いを具体化するのが行政の役割です。

三島町長 矢澤 源成